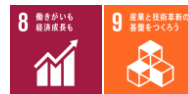


株式会社 京都銀行

京都市下京区烏丸通松原上る
郵便番号600-8652

NTTデータが提供する「DataRobot」・「AIサクセスプログラム」を導入 ～データ利活用の取り組み加速に向けて～



京都銀行(頭取 土井 伸宏)は、株式会社 NTTデータ(代表取締役社長 本間 洋)が提供するAIプラットフォーム「DataRobot」および「AIサクセスプログラム」を導入しましたのでお知らせいたします。

当行では、加速度的に高度化・多様化するお客さまのニーズへの対応に向けて、銀行グループ全体でデジタル分野の体制強化を積極的に進めており、2023年2月にデータ利活用に関する専担部署としてデータドリブン推進室を新設しました。

今般、株式会社 NTTデータが提供するAIプラットフォーム「DataRobot」の導入および「AIサクセスプログラム」の活用により、データの利活用および高度デジタル人材の育成を一層推進し、2025年度までにAI人材として35名のデータサイエンティストの育成を目指します。

当行グループでは、この取り組みにより、データ利活用を一層加速させ、お客さまへのさらなるサービスの向上とコンサルティング体制強化を実現し、地域の発展と成長に貢献してまいります。

記

1. AIプラットフォーム「DataRobot」について

概要	データ加工やモデルの構築、検証、管理までの一連の機械学習プロセスを自動化するプラットフォームです。AIの活用により、商品・サービスの向上、新たなビジネスの創出等を可能にします。
----	--

2. AIサクセスプログラムについて

概要	NTTデータのデータサイエンティストが、DataRobotを活用したAIテーマの設計からデータ分析の成果創出、人材育成まで一貫して支援するプログラムです。
----	---

以上

京都銀行グループでは、従来から「地域社会の繁栄に奉仕する」という経営理念に基づいた企業活動を行ってまいりました。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践であるSDGs達成に向け、地域の社会課題の解決に貢献してまいります。なお、関連するプレスリリースにその目標であるSDGsのアイコンを明示しております。

【SDGs】2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。17のゴールと169のターゲットで構成されている。

